



阿南商工会議所会報

ニュー阿南

ニューノーマル時代の阿南商工会議所へ

ANAN CHAMBER of COMMERCE & INDUSTRY



2026

1

Vol.336

令和8年1月15日発行



表紙の写真

四国霊場第二十一番 太龍寺

徳島県阿南市加茂町

『幸福・豊穡をもたらす』とされる初日の出参りの習慣は、日本古来の四方拝という天皇の元旦の儀式が始まりで、それが庶民の間に現在の形で広まり、初日の出を拝むという習慣になった。

- | | |
|-----|----------------------|
| P2 | 新年のご挨拶 |
| P7 | 第55回徳島県商工会議所議員大会 |
| P8 | あなんまちバル |
| P9 | 青年部「スカイランタンFESTIVAL」 |
| P10 | 水ものがたり |
| P11 | ふなどころ通信 |
| P12 | 女性会創立50周年記念ツアー募集 |

※見出し一部抜粋



ニュー阿南電子版

新春を迎え謹んで 新年のご挨拶を申しあげます



阿南商工会議所
会頭 兼 松 功

阿南商工会議所会員及び市民の皆様には、令和8年の輝かしい新春を迎えられ、心よりお慶びを申し上げます。

昨年11月4日に本会議所第24期となる役員改選に伴う臨時議員総会において、会頭に再任させていただきました。今任期中、再任されました3人の副会頭・専務理事と共に議員・会員・職員の皆様方のご支援・ご協力をいただきながら、一丸となって地域の振興と発展に全力で取り組んでまいります。

昨年を振り返りますと、物価高騰やエネルギー価格、国際情勢等の不安定化、人手不足や賃金上昇など、多くの中小企業者にとって厳しい経営環境が続きました。特に、地域経済を支える中小企業・小規模事業者の皆様にとりましては、人件費の上昇分を価格に転嫁できていない厳しい状況が続いて

おります。このような中でも、デジタル化への対応や省力化投資、販路の多角化、人材育成等に積極的に取り組まれるなど、地域経済を支える皆様のひたむきな挑戦に改めて敬意を表します。

さて、本会議所の重点事業であります社会インフラ整備促進については、徳島南部自動車道の阿南・小松島南間が3月8日に開通いたします。部分供用ではありますが、那賀川をまたぐ交通ルートの改善や通勤・物流の効率化が期待されます。高速交通ネットワーク機能を発揮するには、未整備区間の早期開通や阿南安芸自動車道一般国道55号桑野道路・福井道路の整備促進、更には周辺道路との接続も課題となります。開通の効果を最大限に活かしながら、今後、新たな可能性が広がり、企業の販路拡大、企業立地の促進、観光・交流人口の拡大などへつながるよう調査研究を行ってまいります。また、那賀川水系における河川整備については、地域の経済活動に欠かさない水資源の確保と大規模自然災害に備えた事前防災につながる事業を更に加速していただくよう、市当局・関係団体と連携し、国・

県に対し積極的に要望活動が続けてまいります。

中小企業の振興につきまして、これまで、中小企業振興特別委員会において、エコノミックガンデニングについて調査研究を進めると共に、市当局への要望活動を行ってまいりました。その成果として産官学連携で中小企業を大切に育て、地域経済を活性化させる態勢として、昨年8月30日に「エコノミックガンデニング阿南」がスタートしました。市当局、関係団体・機関と連携しながら、中小企業者の挑戦と成長を支援してまいります。

急速な少子高齢化や人口減少に加え、最近の最低賃金引き上げなどの影響で、人材確保と人材育成が大きな課題となっています。特に大都市圏への若者の流出により地元企業で働く若者が減少しています。若者の地元定着には地元企業の知ってもらい、地元の仕事に興味関心を持ってもらうきっかけ作り、仕事のやりがいや成長の機会など、地元で働く魅力を発信することが必要です。こうした若者を地元企業への就職に結びつける取組みについて調査研究を進

め、人材確保と育成につなげてまいります。

管内事業所への支援では、経営改善普及事業において、記帳、税務指導、金融・労働等の支援に取組むほか、エネルギー価格高騰やその他の物価高騰・賃上げ（最低賃金引上げ）・デジタル化に向けた経営力強化・インボイス制度導入・関税問題といった事業環境変化による影響を受ける中小企業・小規模事業者の皆様、経営相談や各種申請サポートを目的に、専門家による個別相談を実施します。また、近年頻発する地震や台風等の自然災害や感染症の発生などのリスクに対し、被害を最小限に抑え、事業を継続するための「事業継続力強化計画」の策定から申請までを支援してまいります。引き続き、中小企業・小規模事業者の活力強化に向けて積極的に活動を行ってまいりますので、皆様には一層のご努力をお願い申し上げます。

様々な課題がある中、本会議所の果たすべき役割は、これまで以上に大きなものとなっております。本会議所は地域の総合経済団体として、会員の皆様の声に耳を傾け、現場に寄り添った支援を行っていくことが使命であり、より一層尽力してまいります。

結びに、本年が皆様にとりまして勢いと希望に満ちた飛躍の一年となりますこと、そして本市がさらに活力あるまちとして発展することを中心より祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。



阿南商工会議所青年部
会長 谷 真澄

新春の候、皆様ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

本年度、青年部は、「United for the future」のスローガンを掲げ、日々活動しております。「地域を支える」「経済を通じて地域活性化を推進」という共通の目標を持ち、商工会議所の一翼を担う青年経済人として地域の新しい可能性を切り開き、自分たちの活動が地域にどう貢献できるかを模索しながら仲間と団結し、交流と研鑽に努めてまいりました。さらに私ども阿南YEGは今年度で創立35周年の佳節を迎え、衆議院議員・参議院議員・阿南市長など多くのご来賓をお招きし、阿南商工会議所青年部創立35周年事業を開催することができました。これも偏に皆様方のご支援・厚情の賜物と深く感謝いたしております。また、夏のシカヤック&SUP体験事業・阿南市保健センター保健師をお招きした「ビジネスマインド強化健康セミナー」、スカイランタンFESTIVAL事業等、通年実施している事業も開催することができました。

様々な事業が計画通りに実施できている背景には、商工会議所に係る皆様、青年部OB、皆様のご協力があつての事だと認識しております。誠にありがとうございます。そして、青年部会員の皆様も当委員会活動や各種事業に対して、多くのお時間をかけていただいております。意見を共有し、互いを尊重しながら作り上げることができ、大変感謝しております。

これからも青年部は「地域に求められる団体」となれるよう、活動してまいります。皆様方におかれましては、これまでと変わらぬご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。本年もどうぞよろしくお祈りいたします。

明けましておめでとうございます。
2026年の新春を迎え、
謹んでお慶び申し上げます。

―変革と価値共創による日本経済の再出発―



日本商工会議所
会頭 小林 健

「成長の果実を賃金や投資へ」

さて、昨年の世界情勢は、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化や中東情勢の緊迫化といった地政学リスクに加え、関税・輸出管理・産業補助・投資審査などが複合的に作用し、通商環境の再編が進行するなど、不確実性が一段と高まった一年でありました。

国内に目を向けますと、日本経済は賃金と物価の好循環に向けた兆しが明確になりつつあります。依然として物価上昇に賃金が追いつかず、実質賃金の着実な回復が最大の課題です。長年にわたる染みついたデフレマインドを払拭し、成長の果実を賃金や投資へ確実に循環させることこそ、日本経済の「再出発」に向けた最大の鍵であります。

こうした中、国政においては、憲政史上初の女性総理として高市総理が誕生し、就任直後からトランプ米大統領をはじめ各国首脳と

の会談を精力的に行い、首脳間の信頼醸成に努めてこられました。また、高市総理が議長を務める「日本成長戦略会議」におきましても、AI・半導体、造船、量子など17の戦略分野への投資に加え、人的資本の強化、労働市場改革、スタートアップ支援、賃上げ環境整備など、将来の成長力を高める政策課題が明確に示されました。国の成長戦略と歩調を合わせつつ、民間の現場から具体的な提言と実行を積み重ねていくことが、私どもの責務であります。

「成長型経済への転換を確固たるものに」

「変革」と「価値共創」
わが国の経済は、成長型経済への移行に向けた正念場を迎えています。しかし、企業数の99.7%、雇用の約7割（3大都市圏を除く）と約9割を占める中小企業は、円安・原油高に伴う原材料・エネルギー価格などの高騰、人手不足や労務費の増加、さらには消費低迷など多くの課題に直面しています。

成長型経済への転換を確固たるものとするためには、個々の企業が自己変革を果たし、変化する外部環境に適応していくなど、絶え

ず「変革」に挑み続ける姿勢が重要です。同時に、不確実性の時代においては、多様な主体が互いの強みを持ち寄り、新たな価値を共に創り、共に分かち合う「価値共創」の発想こそが、これからの日本経済を支える基盤になると確信しています。

「変革と価値共創による日本経済の再出発」に向けた三つの重点課題

こうした考えから、私は今期のスローガンとして「変革と価値共創による日本経済の再出発」を掲げました。このスローガンの下、以下の3点を重点課題として当所の運営に取り組んでまいります。

1点目は「成長型経済の実現に向けた環境整備」です。成長型経済を実現するには、コストプッシュ型インフレから、需要拡大によるデマンドプル型インフレへと転換し、賃金と投資の好循環を持続させる必要があります。そのために、適切な価格転嫁と取引適正化の推進は、賃上げ原資を確保する観点から官民を挙げて一層強化すべき課題です。加えて、経済安全保障とエネルギー安全保障の両立、過度な円安の是正に向けた金融政策、人手不足への対応、持

続可能な全世代型社会保障制度の構築につきましても、引き続き要望してまいります。

2点目は「変革と価値共創による中小企業・小規模事業者の『稼ぐ力』の強化」です。成長型経済の実現には、中小企業・小規模事業者の付加価値と生産性の向上が不可欠であり、新分野進出・DX・GXの推進、知的財産の創造・保護・活用、海外展開、スタートアップとの連携などへの挑戦が求められます。また、事業承継を契機として、より強く魅力ある企業へと生まれ変わることが重要です。

3点目は「地域の稼ぐ力の向上による地域経済循環の推進」です。持続可能な観光地域づくり、地域に新たな投資を呼び込むためのインフラ整備や税財政支援、地域の産業を担う人材の確保・育成支援が求められます。いずれも商工会議所の主要な活動テーマであり、当所はもとより、各地商工会議所が中核となつて取り組まれることを心より期待いたします。

「現場主義・双方向主義」の発展

私は「原点は対話である」という信念の下、会頭就任以来、全国各地を訪問し、地域や事業者の生の声を伺い、各地域が抱える課題の把握に努めてまいりました。今後は「現場主義・双方向主義」をさらに発展させ、現場の声に真摯に向き合いながら、中小企業と地域の活性化、日本経済のさらなる成長に向けて、皆さまと共に全力を尽くしてまいります。皆さまの多大なるご支援、ご協力をお願い申し上げます。

申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



阿南商工会議所女性会
会長 町田 哲子

新年あけましておめでとうございます。2026年の新春をお迎えし、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

旧年中は、阿南商工会議所女性会の活動に温かいご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。私たち女性会は、昨年、創立50周年という大きな節目を迎えました。半世紀にわたり、地域に寄り添い女性の力を集結して活動が続けてこられた先輩方に改めて深い敬意と感謝の意を捧げます。

記念事業といたしまして、昨年11月には阿南市内の四国八十八カ所霊場 21番札所太龍寺と22番札所平等寺や一宿寺からの遍路道入口に、10年後20年後の満開の桜を想像し、枝垂れ桜の植樹を致しました。さらに、本年3月27日には「四国八十八カ所霊場巡礼 桜巡りツアー」を企画しており、阿南市内の四国八十八カ所霊場の巡礼・高野山大学より講師をお迎えしての特別講演会・枝垂れ桜の見学など地元市民の皆様や会員の親睦を深める計画を立てています。

近年では、巡礼の皆様への「お接待」や、夏祭りの「ゴミゼロ大作戦」、CO2削減や夏の温暖化防止対策の為「みどりのカーテンプロジェクト」など、地域の課題解決に取り組んでまいりました。

こうして女性会事業を邁進して来られたのも、阿南商工会議所親会をはじめ、企業関係各位の長年にわたる温かいご支援やご指導並びに、歴代の会長・会員各位のご理解とご協力のおかげにより、今日の女性会へと成長・発展を遂げてまいりましたことに、心より感謝申し上げます。

本年も「交流」「連携」「地域貢献」を大切に、これからの50年へ向けた新たな一歩を踏み出してまいりますので、引き続きご指導、ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

結びになりましたが、皆様方の社業のご発展とご健勝をご祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。



専務理事
青木 芳幸
阿南商工会議所



副会頭
森 活也
株式会社ワンダー
代表取締役



副会頭
松浦 浩二
有限会社松浦建設
代表取締役



副会頭
清原 裕登
徳島県南メディアネットワーク㈱
代表取締役



会頭
兼松 功
株式会社アイテイス
代表取締役



常議員
榎本 真之
㈲イーノカンパニー
代表取締役



常議員
岩浅 良治
株式会社ドバシ
代表取締役



常議員
岩浅 睦生
岩浅印刷所
代表者



常議員
栗谷 圭吾
日亜化学工業株式会社
常務取締役管理本部長



顧問
長谷川直樹
王子製紙㈱富岡工場
執行役員工場長



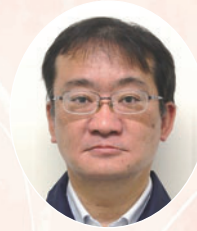
常議員
四宮 浩
有限会社みやひろ
代表取締役



常議員
篠原 好貴
㈱マザーアースエンタテインメント
代表取締役



常議員
篠野 忠弘
篠野海運株式会社
代表取締役



常議員
児玉 二郎
王子製紙㈱富岡工場
事務部長



常議員
逢坂 俊宏
㈱徳島大正銀行阿南支店
執行役員支店長



常議員
原 芳和
株式会社原建材店
代表取締役



常議員
西田 祥典
株式会社西田企画
代表取締役



常議員
西岡 章
西部木工
代表者



常議員
武田 仁志
有限会社ウッディーワン
代表取締役



常議員
新野 哲朗
新野木材株式会社
代表取締役



常議員
星場 俊之
株式会社岡部機械工業
代表取締役



常議員
古里 健一
古里社会保険労務士事務所
代表者



常議員
藤崎 耕治
株式会社G F
代表取締役



常議員
藤倉 誠司
㈱阿波銀行阿南支店
執行役員支店長



常議員
平野 惣吉
株式会社平惣
代表取締役



常議員

横手 晋一郎

阿南生コンクリート工業(株)
代表取締役



常議員

湯浅 恭介

志満や運送株式会社
代表取締役



常議員

八木 健造

八木建設株式会社
代表取締役



常議員

元木 厚博

四国電力株徳島支店営業部阿南営業所
所長



常議員

村田 浩司

八重川海運株式会社
監査役



議員

青木 晃

葵建設株式会社
代表取締役



監事

横手 俊夫

南リフレッシュ阿南
専務取締役



監事

徳弘 裕二

株四国銀行阿南支店
支店長



監事

谷口 順二

日電徳島株式会社
代表取締役



常議員

若木 康正

若木機工有限会社
代表取締役



議員

岩城 由美

医療法人翠松会岩城クリニック
経営企画室長



議員

今治 広行

株式会社いまじ
代表取締役



議員

石川 高義

石川木産
代表者



議員

池添 恭弘

株橋コーポレーション
代表取締役



議員

青木 孝憲

有限会社青木産業
代表取締役



議員

岡久 喜寛

有限会社岡久運送
代表取締役



議員

岡澤 智

阿波製紙(株)阿南事業所
取締役上席執行役員



議員

大津 裕哉

有限会社大津屋
代表取締役



議員

大上 善弘

株保険パートナーまごころ
代表取締役



議員

江本 憲市

江本食品有限会社
代表取締役



議員

佐竹 義治

阿南信用金庫
会長



議員

佐々木一成

佐々木運輸機工(有)
代表取締役



議員

河内 志郎

桜マテリアル株式会社
代表取締役相談役



議員

片山 毅

太陽高速印刷有限会社
代表取締役



議員

岡本 忠晃

有限会社ガレージ岡本
代表者



議員

谷 章次

加茂谷運送株式会社
代表取締役



議員

竹内 正

有限会社竹内水産
代表取締役



議員

鈴木 琢也

有限会社日栄工業
代表取締役



議員

島村 敏明

島村建設株式会社
代表取締役



議員

四宮 仁

宮和海運株式会社
代表取締役



議員

西尾 清明

新日本電工(株)徳島工場
常務執行役員徳島工場長



議員

新居 洋子

株式会社ニイバイオ
代表取締役



議員

中西 一浩

中西鉄工有限会社
代表取締役



議員

鳥海 勇二

鳥海印刷有限会社
代表取締役



議員

虎尾 武俊

虎尾商事有限会社
代表取締役



議員

平尾 勲雄

株式会社日誠産業
取締役会長



議員

橋本 滋

橋本鉱油有限会社
代表取締役



議員

新田 秋宏

有限会社まるす
取締役



議員

西野 友洋

西野建設株式会社
代表取締役



議員

西岡恵美子

有限会社徳島中央観光
取締役



議員

原田 晃

ソルベイ・スペシャルケム・ジャパン(株)
代表取締役



議員

町田 哲子

有限会社料亭まちだ
監査役



議員

福永 光宏

倉敷紡績(株)徳島工場
工場長



議員

福井七五三夫

鳳建設株式会社
代表取締役



議員

廣瀬 諭志

(株)廣瀬諭志建築設計事務所
代表取締役



議員

森本 則明

株式会社八千代組
代表取締役



議員

森 容一

モリソンズ
代表者



議員

森 和也

株式会社森商店
代表取締役



議員

撫中 大輔

末廣海運株式会社
代表取締役



議員

三沢 信博

J-POWERジェネレーションサービス(株)
橘湾火力運営事業所長



議員

和渕 祐子

わぶちピアノ教室
代表者



議員

吉岡 陽子

美原工業株式会社
代表取締役



議員

横手 光晴

光晴汽船株式会社
代表取締役



議員

山本 史夫

大和観光株式会社
代表取締役



議員

柳本 義雄

株式会社ベルフォーレ
代表取締役



国土交通省で地域の現状を伝える兼松会頭



財務省 中谷副大臣へ要望



国土交通省 酒井副大臣へ要望

高規格道路整備及び河川整備に必要な 予算確保に向けて要望活動を実施

来年度の当初予算編成にあたり、財務省が各省庁のヒアリングを行う時期に合わせて、10月28日(火)・29日(水)に、兼松会頭(阿南市高規格道路等建設促進期成同盟会長・那賀川治水対策協議会長)が、岩佐阿南市長・橋本那賀町長とともに国土交通省及び財務省を訪問しました。

国土交通省では、酒井庸行副大臣、杵掛敏夫道路局長、林正道水管理・国土保全局長、財務省では、中谷真一副大臣と面会し、徳島南部自動車道及び阿南安芸自動車道の早期完成と長安口ダム改造事業、小見野々ダム再生事業が早期完了するよう、本事業に係る令和7年度補正予算及び令和8年度予算確保を要望しました。

要望書の手交のあと、地元企業の代表者や女性団体の代表者が地域の現状を伝え、徳島南部自動車道の全線開通と阿南安芸自動車道の早期整備、安定した企業活動のため河川整備予算の確保について、地元の声として熱心に要望しました。

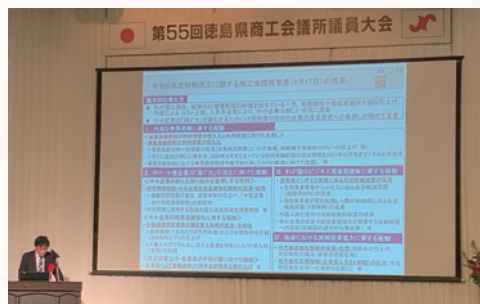
第55回徳島県商工会議所議員大会開催される

令和7年12月9日(火)、JRHホテルクレメント徳島に於いて第55回県連議員大会が開催された。徳島県選出国会議員をはじめ多数の来賓臨席のもと、県内6商工会議所から約80名が出席し、当所からは役員・議員等14名が出席した。

大会では徳島県中小企業・小規模事業者活力強化集会の決議事項(案)として、

1. 地域経済の活力強化について
2. まちづくりや観光振興による地域活性化について
3. 南海トラフ地震などの大規模災害対策について

また大会終了後に、日本商工会議所事業部の木内部長より「重要政策課題の動向について」、神戸税関業務部の東海調査官より「EPA利用促進に向けた税関での取り組み」について説明があった。



阿南まちバル in TOMIOKA



11月23日(日)「第1回阿南まちバル in TOMIOKA」が阿南駅周辺の飲食店で開催され、約500名の参加者で賑いました。

“阿南まちバル”とは、5枚綴りのチケットを購入し、参加した各店舗につき1枚まで利用可能。1枚の使用でドリンク1杯とフード1品を楽しみいただける仕組みで、前売券・当日券合わせて予定していた250セットがほぼ完売となりました。

開催日当日は、阿南駅前オープニングセレモニーとして「ふるまい酒」の提供があり、集まった100名近くの参加者に喜んでいただきました。また会場周辺ではライブ演奏もあり、お酒を飲みながら音楽を楽しんでいただきました。

参加した店舗では、予想を上回る来店者に驚き、できるだけ回転させたいと精一杯対応しましたが、店頭で待つ参加者の行列が途切れることなく、店内も満席状態が続きました。またバルメニュー用に仕入れた食材を出し切ってしまう、別メニューで対応した店舗も多くありました。

参加者からは「店舗数が少ない」、「待ち時間が長すぎる」などの指摘もありましたが、次回への期待も大きく「とても楽しかった。次回も参加したい!」という声も多く聞くことができました。

参加店主も「課題を検証し、次回に向けて今から計画を立てていきたい」との意気込みや参加店同士が“お客様のために意見を出し合える機会が増えた”ことにこそ『まちバル』の意義を感じています。

社会インフラ整備促進特別委員会

11月13日(木)、ホテル石松において防災×まちづくりICTセミナーを開催した。セミナーでは、都市や地域の災害リスク評価やシミュレーションの研究を行っている東京大学生産技術研究所の加藤孝明教授、世界でICTビジネスの経験を積み、防災DX通信システムや金融ICTの導入を先導する阿南市出身(阿南工業高等専門学校卒業)の荒川太郎氏が講演を行った。加藤教授は、地域にある資源を活用し、防災の取組みをまちづくりと捉え、発災後において容易に復興できる状態までまちづくりを進めることが安心社会に繋がる。荒川氏は、人と人とのつながりを強化するために最新のICT技術を活用し地域社会に生かす取組みについて話された。



中四国エリアでの交流と連携を推進

中四国南北軸交流懇談会が鳥取市において11月17～18日開催され、約50名が参加。当所からは清原副会長、青木専務理事、齋藤事務局長が出席しました。交流会では、2026年の大河ドラマ「豊臣兄弟!」の中でも語られる、羽柴兄弟(秀吉・秀長)による鳥取城攻防戦について、鳥取市教育委員会の佐々木文化財課長より説明があった。その後の視察で訪れた鳥取城跡ではボランティアガイドによる“秀吉の兵糧攻め”の様子などを聞くことができた。翌日には国立鳥取大学乾燥地研究センターや鳥取砂丘[砂の美術館]を訪れ、各地商工会議所との交流を深めました。

中四国南北軸交流懇談会とは

中四国南北軸地域の一体的発展を目指し、地域間の交流と連携を推進するため、中四国6県(鳥取、島根、岡山、徳島、香川、高知)の商工会議所連合会において平成8年6月に設立。以来、圏域の共通課題である高速道路の早期建設などのインフラ整備やフリーゲートトレインの導入促進、瀬戸大橋料金の引き下げ運動などに取り組み交流と連携を推進しています。



ANAN GOOD OWNER 阿南まちゼミ店主 「ポスタープロジェクト」制作!!

地域を支え、お客様から愛されてきた店主さんに焦点を当て、ポスターを制作する「ポスタープロジェクト」を2年連続で取り組みました。

最初は、「私のポスターなんか恥ずかしい」と言っていた店主さんですが、出来上がったポスターをお店に飾ると、お客様から「素敵なポスターね」と声を掛けられ、事業にも益々力が入っているようです。

このポスターは、「まちゼミ」に取り組む店主さんの「人と成り」を写真と一言メッセージを添えて伝えることを狙っており、普段、店主さんの心の底にある思いを引き出し、お客様の前で接客する姿そのものを映し出しています。昨年は16店舗が制作し、今年は6店舗が制作に取り組みしました。11月16日(日)に開催された「あなんまちマルシェ」では店舗の前に展示するなどして地元店主をPRしました。



阿南市に息づく、竹人形の伝統技

「未来へつなく 後継者育成講座」修了

阿南市竹人形の後継者育成講座が9月7日より開始され、抽選で選ばれた11名の受講者が12月14日までの8回の講座を修了しました。

講座では、男踊りや女踊りの基本的な作り方を学んだ他、鳴り物や竹人形の立て方・竹材の漂白の仕方など、講師から丁寧に指導いただきました。受講者の皆様も自分の物にしていこうと、熱心に質問をしたり、講師が製作している独自の定木を真似て作ったり、作業が上手に進められるように日々努力されてきました。

今後は、阿南市の竹人形を伝承していただける後継者として製作に取り組んでいただけることを期待しています。

修了された受講者の作品展示会をステーションプラザにて1月27日から2月8日まで行います。



青年部 だより

スカイランタンFESTIVAL

12月7日(日)、LEDを灯したランタンを空に浮かべるスカイランタン体験イベント「スカイランタンFESTIVAL」を那賀川スポーツセンターにて開催しました。

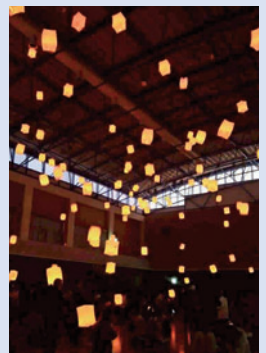
本イベントは、光のまち阿南に新たな賑わいを生み出すことと体験された方が阿南市の魅力を再発見等、現在・将来に亘って地域活性化に繋げていく目的のもと行いました。

当初は、那賀川中学校グラウンドでの開催を予定していましたが強風の影響によりランタンを飛ばすことが難しく、急遽那賀川スポーツセンター内にランタンの打ち上げ場所を変更したことで、無事150基すべてのランタンを引き換えることができ、200人以上の方にご参加いただきました。

午後5時からMCの掛け声と音楽に合わせて、150基のランタンは参加者の願いをのせて体育館内を明るく照らし、無事浮かべることに成功しました。ディズニー映画「塔の上のラプンツェル」のように幻想的な光景に参加者から感動の声が多く寄せられました。参加された方々には普段なかなか味わえない体験をお楽しみいただきました。

このイベントをとりまとめた阿南YEG地域活性化委員会 黒部委員長は「今回得た経験をもとに今後も地域の絆を深めるイベントを展開していきたい」と強く語っていただきました。

今後も「ふるさとの光」を見つけ、地域資源の魅力を高めていけるような活動をしていきたいと思います。



女性会 だより

阿南商工会議所女性会創立50周年記念事業 植樹式とお接待

阿南商工会議所女性会は、本年創立50周年という節目の年を迎え、記念事業の一環として、四国遍路の世界遺産登録推進普及を目的とした「植樹式」と「お接待」を11月15日(土)に太龍寺で行いました。当日は晴天に恵まれ、紅葉も美しく色づき、明るい雰囲気の中、境内に枝垂桜1本を植樹しました。植樹後には、参拝者の皆様にお接待を行い、秋空の下交流が深まり節目にふさわしい意義ある日となりました。



四国商工会議所女性会連合会総会愛媛大会参加 愛媛県庁訪問

12月3日(水)四国商工会議所女性会連合会総会が松山市で開催され、総会参加に先立ち愛媛県庁を訪問し、中村時広愛媛県知事を表敬訪問しました。面会の席では、貴重なお話を伺うことができ、今後の事業推進に向けて大きな励みとなりました。その後、総会に出席し、全議案が滞りなく審議・承認されました。総会終了後には講演会及び交流会が開催され、他地域の女性会の皆様と情報交換を行い、交流を深めることができました。



「那賀川関連ニュース」 令和7年秋

阿南工業高等専門学校 名誉教授 湯城豊勝

「ながかわ探検バスツアー」
10月25日(土) 参加者：小学生7名、
中学生1名、保護者5名

「ゆきかう那賀川推進会議」は、阿南市・那賀町の小学生等を対象に「ながかわ探検バスツアー」を開催、森林散策と「ナカまつり」を見学しました。「森のすばらしさを感じてみよう!」を合言葉に、バスは那賀川上流を目指しました。着いた所は、那賀町白ヶ谷の橋本林業さんの森林で、環境省の「自然共生サイト」に登録されています。ここは自伐型林業のモデルとなっており「林業と自然が調和する生物多様性豊かな美しい森」と云われ、針広混交林化した森林に250種類以上の植物種が存在しています。そして木漏れ日が差す綺麗な森の中を、橋本延子さんが案内してくれました。

まずは、整備された森の中を歩きながら森林の役割を学んだり、昔の遊びを楽しんだりの体験をしました。さすがにモデルになっている森林とあって、杉を中心とする針葉樹だけではなく広葉樹も多く見られること、植生が複層になっていること、道が整備され、かつ崩れた斜面がないことなどがよく分かりました。また、キノコに非常に興

味を持つ子もいて感心しました。キノコが育つ森林、これも大事なことでしょう。さらに、森林の水循環の研究をするため、徳島大学の田村隆雄先生が設置された雨量調査用器械も拝見しました。

昔の遊びが3種類用意されていました。ウラジロをグラライダのように飛ばしたり、カラムシ(方言ではヒュウジ)の葉を使って音を鳴らしたりするのは、山育ちの私にも初めての体験でした。また、細い竹をストロー代わりにしてシャボン玉を飛ばすのも新鮮に感じました。昼食を森林の中でと計画していましたが、空模様心配になって長安口ダムの事務所へ行くことになりました。その後、ダムの左岸展望台で集合写真を撮って道の駅「鷺の里」に移動し、地域のイベント「ナカまつり」を堪能しました。

「第16回 那賀川源流コンサート」
11月24日(日) 那賀町長安口ダムの
広場駐車場 特設会場 参加者150名

長安口ダム下流右岸にある「長安口ダム広場」は綺麗に整備されており、特にトイレの立派さには圧倒されました。そして快晴の小春日和、紅葉した自然の中で、10組33人の方に

演じていただきました。

最初に中村貴志会長、新居宏副町長、北川誠純那賀川河川事務所長より挨拶があり、コンサートの開始です。一番は、元気で賑やかな佐那人(さななびと)の皆さん、会場は一気に盛り上がりました。続いて、TAKAさんのギター弾き語り、秋の風情にぴったりでした。そこからピアノ演奏が3組、小学校2年生の中村はるさん、退職後にピアノを習い始めたまえたさとしさん、山本貴子さんのベートーヴェン作曲「月光」の演奏はさすがです。

長谷川祐介氏よりは、オーストラリア原住民の楽器で管楽器として世界最古のディジュリドゥの演奏、アマポーラはメンバーが増えたのオカリナ演奏、那賀町職員バンドの演奏は迫力満点でした。さらに、ふなき家小びん太さんの徳島鉄道唱歌、JRの駅名を替え歌に読み込んだ楽しい独唱でした。最終組は、ドラム缶からつくった楽器によるステイールバンド・パンドルさんの素敵な演奏でした。

最後に出演者と観客全員で童謡「ふるさと」を合唱し、那賀川オリジナルキャラクター「りゅうな」を交えての記念撮影になりました。お世話になりました、全ての皆様に感謝します。

主催：那賀川アフターフォーラム
協賛：ゆきかう那賀川推進会議、(一財)日垂ふるさと振興財団、那賀川工業用水利水者協議会、長安口ダム工区連絡協議会、徳島県企業局ダム水源サポ

ート事業

YMCAピンクシャツデー 2026年2月25日(水)



ピンクシャツデーは、実話から誕生したカナダ生まれのいじめ反対運動です。ピンクシャツを着ることやピンク色のものを身につけることで「いじめ反対」の意思表示をする日です。阿南商工会議所はYMCAピンクシャツデーに協賛しています。



山の中で「しゃぼん玉」を楽しむ



「りゅうな」とともに♪ふるさと♪合唱

晴峰会館

大津屋



0120-22-0453

その身になって奉仕する



有限会社 花輪の大津屋

本店 阿南市富岡町東新町 78-2
TEL.0884-22-0453 FAX.22-0912
会館 阿南市富岡町西池田口 32-1
TEL.0884-23-3711 FAX.23-4545

人と地球に、ここにいる。
nepia

売上げNo.1
吸収性バツグンの
長巻きキッチンタオル

※「ペーパータオルカテゴリー 70カット以上のロールタイプ」市場、ネピア吸収キッチンタオルブランド、累計販売金額/容量シェア(2021年4月～2023年3月)、全国、全業態、イメージSRI+調べ

nepia 激吸収キッチンタオル



領域をこえ 未来へ
OJI

船内ハラスメント防止セミナーを開催

労働施策総合推進法（いわゆるパワハラ防止法）の改正により、職場におけるパワーハラスメント防止のため、雇用管理上必要な措置を講じることが、令和4年4月1日から全事業者に義務付けられた。とりわけ一定期間に渡って共同生活を行う海上労働では、常にハラスメントが起こりうる状況でもある。これらを踏まえ、船員の定着率の向上や、働きやすい労働環境を整える一助とすべく12月5日(金)にセミナーを開催した。

ハラスメントを未然に防ぐコミュニケーションの重要性、また起こった時の対応策など、自社における労働環境整備に活かそうと参加した船主らは講師の話に耳を傾けていた。



親睦ゴルフコンペ・忘年会を開催

12月6日(土)、恒例の親睦ゴルフコンペと忘年会を開催した。親睦ゴルフコンペでは総勢56名が晴天に恵まれた中プレーし、ホールインワンが達成されるなど大盛り上りのゴルフコンペとなった。

忘年会の中で執り行われた表彰式では、当協議会の篠野会長が見事優勝し、カップを掲げた。船主のほか、金融機関や海事産業関連から多数の参加もあり、未来の内航海運業について意見交換し、懇親を深めた。



新年会・送別会・各種会議

会席料理 5,000円～8,000円各種ご相談下さい

ご予約
中



ホテル 同松

ご予約・お問い合わせはお気軽に!

☎ 0120-22-0126

〒774-0030 徳島県阿南市富岡町トノ町113-3 Tel:0884-22-0126

短期養成科

内燃機関 六級海技士

徳島阿南校

募集!!

2026年
4月開講

奨学金制度あり!!

内燃機関六級海技士(機関) 第一種短期養成科 -徳島阿南校-

募集期間	2026年1月8日(木)～3月2日(月)
選考試験日	2026年3月10日(火)
訓練実施期間	2026年4月14日(火)～9月15日(火)(予定)
訓練実施場所	阿南市商工業振興センター (徳島県阿南市)
定員	12名 ※定員に満たない場合など、開催を中止することがあります。

入学願書
出願先

一般財団法人 尾道海技学院 尾道海技大学校 (養成科)

住所: 広島県尾道市栗原東2-18-43
電話: 0848-37-8111 FAX: 0848-37-8110
E-mail: onomichi@marine-techno.or.jp



令和
7年度

青色申告決算個別指導会

下記の日程にて青色申告決算個別指導会を開催します。(土・日除く)

●開催場所 阿南商工会議所 ●開催時間 10:00～

長生・大野・加茂谷 等	1月20日(火)
津乃峰・大淵等	1月21日(水)
富岡及び周辺等	1月22日(木)～2月2日(月)
橘及び周辺	2月3日(火)
福井・椿・椿泊等	2月4日(水)
新野等	2月5日(木)
桑野・山口等	2月6日(金)

お問い合わせ 阿南商工会議所 TEL:0884-22-2301

新規会員登録ご紹介

ご加入ありがとうございました。 R7.10/22～R7.12/18

おやつのとびら

★みんなの笑顔が集まる場所。

代表/今川 徹【小売業】

阿南市日開野町中居内393-1 TEL:090-5914-3997

ハクジュプラザ阿南店

★健康づくりをサポートするための体験型ショールーム

代表/吉阪 友美【電位治療器宣伝業】

阿南市日開野町筒路1-17 TEL:080-7131-9304

※尚、上記掲載につきましては、加入の際に掲載承諾を頂いた事業所のみ、ご紹介しております。当商工会議所では、組織基盤の強化を図るため会員の募集をしております。お知り合い、お取引先などで未加入の事業所・団体がございましたら、是非この機会にご紹介頂けますようお願い申し上げます。

阿南商工会議所女性会創立50周年記念事業

「四国八十八ヶ所霊場巡礼 桜巡りツアー in阿南」参加者募集

阿南商工会議所女性会は、本年度創立50周年という節目の年を迎えることとなりました。これまでの皆様の温かいご支援に深く感謝申し上げます。この度記念事業の一環として、四国八十八ヶ所霊場巡礼と枝垂れ桜観賞バスツアーを企画いたしました。また当日は創立50周年を記念した特別講演も実施いたします。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

1. 日 時 令和8年3月27日(金) 8時20分～15時30分(予定)
2. 内 容 ◇21番札所太龍寺参拝・枝垂れ桜観賞
◇22番札所平等寺参拝・枝垂れ桜観賞
◇料亭まちだ(昼食・特別講演)
◇一宿寺・熊谷の枝垂れ桜観賞
※特別講演には高野山大学 川崎一洋特任教授にお越しいただきます
3. 定 員 先着25名様
4. 参加費 1人:3,000円
5. 申込方法 右記QRコードからお申込みください
6. 申込期間 令和8年2月13日(金)～令和8年3月13日(金)

【お問い合わせ】阿南商工会議所女性会 TEL0884-22-2301



必ずチェック! 最低賃金

徳島県最低賃金

【効力発生日】

令和8年1月1日

時間額

1,046円

特 定 最 低 賃 金

産 業 名	時 間 額	効力発生日
はん用機械器具、生産用機械器具、業務用機械器具製造業	1,134円	令和8年1月1日
電子部品、デバイス、電子回路、電気機械器具、情報通信機械器具製造業	1,105円	
造作材、合板、建築用組立材料製造業は徳島県最低賃金が適用されています。		

■最低賃金についてお問い合わせ先 徳島労働局賃金室(☎088-652-9165)又は最寄りの労働基準監督署まで

■最低賃金改正に伴う労務等のご相談や労働関係助成金に関するお問い合わせ先 徳島働き方改革推進支援センター(☎0120-967-951)まで

阿南市青色申告会 会員募集!

青色申告会では、個人事業主の皆様に適正な申告を行っていただくために記帳から決算・確定申告までの指導等、お手伝いをさせていただいております。是非ご入会ください!!

お問い合わせ

阿南市青色申告会 TEL:0884-22-2301



—明日のいいこと、印刷から—
Printomorrow

鳥海印刷有限会社

TORIUMI PRINTING Co.,Ltd

阿南市見能林町 ☎0884-22-0526 <http://toriumi-print.com>

